

# 利用例 -訪問リハビリとの連携-



小規模多機能ぼやあ樹では、毎月、地域の病院や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など、さまざまな機関の皆様よりご相談をお受けしております。そこで、実際にぼやあ樹へご利用となられたケースの中から、リハビリチームと連携して在宅生活をしながらリハビリを継続した利用例を紹介させていただきます。



## Aさん: キーワード【一人暮らし+理学療法士による訪問リハビリ】

【ポイント】本人は自宅での生活を希望している。また、入院中には病院で歩行や筋力向上のリハビリを実施しており、退院後も現状の身体レベルを維持するためにリハビリの継続を希望。  
そのため、小規模多機能と訪問リハビリ(理学療法)とが連携して在宅生活の支援を実施。

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	デイサービス	AM: <b>訪問リハビリ</b> PM: <b>訪問</b>	<b>訪問</b> 1日2回	デイサービス	<b>訪問</b> 1日2回	デイサービス	<b>訪問</b> 1日2回
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回午前中 自宅にて理学療法士による訪問リハビリを実施。</li> <li>→ぼやあ樹が週4回実施している訪問サービスと同様に、安否確認も兼ねて支援を実施。</li> <li>午後はぼやあ樹にて訪問サービス(安否確認)を実施。</li> <li>・訪問リハビリより、介護職員でもできる簡単な運動プログラムなどを提案してもらい、デイサービス利用中にぼやあ樹にて実施する。</li> </ul>						



## Bさん: キーワード【家族同居+言語聴覚士による訪問リハビリ】

【ポイント】就労の子供(50代)と同居しており、お互いに在宅生活を希望している。しかし、家族としては日中自宅で1人になることに不安あり。また、疾患により軽度の失語症もあるため、なるべく人と接したり話す機会をもつとともに専門によるリハビリの希望があったため、小規模多機能と訪問リハビリ(言語療法)が連携して在宅生活の支援を実施。

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	デイサービス 9~18	AM: <b>訪問リハビリ</b> PM: <b>デイサービス</b>	デイサービス 9~18	デイサービス 9~18	デイサービス 9~18	デイサービス 9~18	休み (利用なし)
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回午前中 自宅にて言語聴覚士による訪問リハビリを実施。</li> <li>→ぼやあ樹が週4回実施している訪問サービスと同様に、安否確認も兼ねて支援を実施。</li> <li>訪問リハビリが終了する頃にぼやあ樹からデイサービスの送迎をして1人の時間を無くすようにする。</li> <li>・訪問リハビリより、介護職員でもできる簡単な訓練プログラムなどを提案してもらい、デイサービス利用中にぼやあ樹にて実施する。</li> </ul>						



## 小規模多機能居宅介護とは？

小規模多機能居宅介護とは、高齢者が住み慣れた家や地域での生活を継続することができるようにするための地域密着型サービスです。

また、ケアマネージャーは小規模多機能居宅介護の事業所に所属している者が担当することにより、ケアプランの作成や利用者の心身の状態、家庭状況を把握できます。

## 小規模多機能型居宅介護



## 小規模多機能居宅介護の特徴とは？

- ❖ 通い・訪問・泊まりの全てのサービスを1つの事業所との契約で利用することができる
- ❖ 通いサービスは「午前中だけ」「午後だけ」など短時間の利用も可能
- ❖ いつも顔なじみの職員がケアを行うため、職員と利用者の交流が図りやすい
- ❖ 24時間365日対応なので、緊急時にも臨機応変に利用が可能
- ❖ 少人数登録制であることと顔なじみの職員と利用者であるため、楽しく家庭的な雰囲気を提供
- ❖ 1カ月あたりの利用料が定額なため、介護保険利用の限度額を超える心配がない

### 《注意事項》

- ❖ 外部ケアマネージャーや外部デイサービスなどのほかのサービスはご利用になれません(但し、訪問看護・訪問リハビリ・福祉用具貸与等に関しましては、介護保険サービス内であればご利用になれます)
- ❖ 地域密着型サービスのため、原則として住所地の市町村の事業所のみ利用可能(ぼやあ樹の場合は横浜市在住の方)
- ❖ 食事、宿泊費は介護保険給付対象外サービスとなります(ご利用者様10割負担)